

【高等学校の部】 優秀賞

みんなにありがとう

大分県立大分支援学校 2年
廣瀬 武尊



私は大分大学附属特別支援学校に通っていましたが、陸上部に入りたくて高等部から大分支援学校に入学しました。

陸上部では、2・3年生の先輩や先生方が優しくしてくれたり、教えてくれたりして嬉しかったです。頑張っている時はみんなが応援してくれました。初めてのドーム練習では、学校からドームまで自転車で行きました。途中の坂がきつくて暑くて、へろへろになっている私を、先輩が声をかけて励ましてくれました。だから、無事につくことができました。高校駅伝では補欠に選ばれて嬉しかったです。応援の時は3年生の先輩が走っている姿がとても格好よくて、来年は私も選手として頑張りたいです。

2年生で高校総体に出ることができて嬉しかったです。1500メートルに出て自己ベストを出しました。1年生の新人戦の時は遅れたけれど、高校総体ではあきらめずについて行って2周目で抜きました。部活のみんなの応援の拍手のおかげで、力を振り絞ることができました。

高等部1年生の2学期に母が突然入院する事になってびっくりしました。そうしたら、先生が「作業服や部活着などを学校で洗濯したら。」と言ってくれました。私は母がいなくて洗濯はどうしようと困っていたけれど、学校で洗濯できたことがよかったです。

入学して、知らない学校、何もかも初めての環境で意地悪されたこともあって困ったけど、校長先生や先生に伝えることができ解決できました。自分が困った時は、周りの大人の人に言えば解決出来る事がわかりました。私は色々な大人の人に助けられて、言えるようになったことはみんなに感謝しています。

私は、知的障がいがある人にスポーツトレーニングと競技会を、年間を通じて提供している国際スポーツ組織のスペシャルオリンピックス(SO)に入っています。SOの運営はボランティアと善意の寄付によって行われています。コーチもすべてボランティアです。SOのスポーツ活動に参加する知的障がいのある人を「アスリート」と呼びます。

私はSOの陸上、競泳、スピードスケート、フロアホッケーのプログラムに参加しています。小学4年の時に入りましたが、初めは走ることが遅く、泳ぐことも滑ることもできませんでした。上手に出来ずに痲癩を起こしても、いつもコーチが優しく教えてくれました。そして、少しでも出来るようになると、ものすごくほめてくれた事が嬉しかったです。一緒にトレーニングしている先輩のアスリートたちからも励ましてもらえて、私は頑張ることができました。

SOの九州大会やナショナルゲーム(全国大会)で、他県のアスリートたちと交流するのもとても楽しいです。私の夢はワールドゲーム(世界大会)に出場して、世界中に友達を作ることです。

私はこれまでボランティアさんや先生方、先輩たちにたくさんお世話になってきました。これからも、たくさんの人たちに支えられていきたいと思います。みんなのおかげで、楽しく暮らしていけることにとても嬉しく思っています。私は少しでも誰かの役に立てる大人になるよう頑張ります。

